

政治史Ⅱ

科目ナンバリング POL-104
選択 2単位

天日 隆彦

1. 授業の概要(ねらい)

戦後政治の展開をたどり、基本的知識を修得することで、幅広い教養と倫理観を身に付ける。
戦後日本の歩みを踏まえ、今日の日本政治及び日本外交の課題について理解を深める。

2. 授業の到達目標

- ①戦後の日本政治外交史の基礎知識を修得する。
- ②戦後の歴史を踏まえ、日本の政治・外交の指針について、自身の考えを述べることができる。

3. 成績評価の方法および基準

最終授業日に行うテスト(60%)と平常点(40%、課題提出など)により総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

北岡伸一著 『日本政治史一外交と権力[増補版]』 有斐閣

参考文献

薬師寺克行著 『現代日本政治史』 有斐閣

5. 準備学習の内容

授業のポイントを理解できるよう宿題(主として選択、穴埋め式問題)を出すので、必ず提出すること。

6. その他履修上の注意事項

歴史の大きな流れをつかむことに重点を置く。
授業中の私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁する。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業方法、成績評価についての説明
1945年の日本の敗戦について学ぶ
- 【第2回】 連合国の占領下の日本について学ぶ
- 【第3回】 冷戦と講和条約締結までのプロセスについて学ぶ
- 【第4回】 講和から1960年の安保改定までの政治外交史について学ぶ
- 【第5回】 高度経済成長時代の政治について学ぶ
- 【第6回】 沖縄返還と日中国交正常化について学ぶ
- 【第7回】 第6回までの授業内容の復習、提出物のフィードバック
- 【第8回】 高度経済成長の終焉、保革伯仲の時代について学ぶ
- 【第9回】 行財政改革と中曽根外交について学ぶ
- 【第10回】 リクルート事件、消費税導入、1989年参院選の「マドンナ旋風」など、昭和から平成への移行期の国内政治について学ぶ
- 【第11回】 東西冷戦の終結で変化を迫られる日本外交、55年体制崩壊のプロセス、1993年の非自民連立政権誕生までの時代について学ぶ
- 【第12回】 1994年の自社さ連立政権の誕生、自民党政治の復活、2001年の小泉内閣の成立までの時代を考察する
- 【第13回】 小泉内閣退陣後の自民党政治の迷走、民主党政権、安倍内閣の時代について学ぶ
- 【第14回】 まとめとテスト(オンライン)
- 【第15回】 テストの解説・総まとめ